



# 最近の医学の進歩

## C型肝炎

- 1989年 C型肝炎ウイルス発見（それまでは非A非B型肝炎）
- 1998年 インターフェロン注射での治療開始（治癒率は低く、副作用が強い）
- 2004年 治癒率50%
- 2011年 飲み薬登場（副作用あり）
- 2014年 飲み薬改良 → 治癒率95%以上
- ✓ 2025年現在、C型肝炎は「飲み薬で治る病気」になりました！

## 片頭痛

- 1988年 国際的診断基準が整う
- 2001年 トリプタン系薬が日本で承認→発作時の治療が本格化
- 2019年 新薬（抗CGRP抗体）登場 → 月1回注射で発作の予防が可能
- ✓ 我慢せず、つらい時は受診を！ 片頭痛のQOL（生活の質）が上がります

## 糖尿病

- 1921年 インスリン発見→糖尿病のコントロールが可能になるが、効果や使い勝手に限界
- 1950年～ SU剤、α-GI、メトホルミンなどの飲み薬がでる
- 1990年～ インスリン製剤が進化
- 2009年～ 体重減少効果や合併症予防効果が高い、新しいタイプの治療薬が続々登場
  - DPP-4阻害薬、SGLT2阻害薬、GLP-1受容体作動薬 ジャヌビア・エクア・ネシーナ、フォシーガ・カナグル・ジャディアンス、ビクトーザ・オゼンピック・リベルサス・トルリシティなど
- ✓ 糖尿病は「血糖だけでなく体重や合併症予防も含めたトータル管理」の時代

## 女性の更年期治療（ホルモン補充療法）

- エストロゲン・プロゲステロンを補充することで更年期症状を改善
- 5年以上の使用で乳がんリスクがやや上昇するが、痩せや運動不足と同程度のリスク増加
- 2021年 天然型プロゲステロン（エフメノ®）登場 … 従来の薬よりも乳がんリスクが低い
- ✓ ホルモン補充療法をすると、動脈硬化の予防、骨粗しょう症・骨折の予防、食道がん・大腸がんリスク低下、肌の水分量UP・ハリの改善、気分安定など良い効果もたくさんあることが分かっています

## 睡眠薬

- 2014年～ オレキシン受容体（覚醒作用）をブロックすることで自然な眠りを促す薬が承認  
ベルソムラ、デエビゴ、クービビック
- ✓ 従来の睡眠薬よりも安全性が高く、依存が少ないため、近年の不眠症治療の中心

